

[抄録様式]

公益財団法人 8020 推進財団	
令和元年度 歯科保健活動助成交付事業報告書抄録	
1. 事業名：	石巻圏摂食嚥下研究会 食べる輪
2. 申請者名：	河瀬 聡一郎
3. 実施組織：	石巻圏摂食嚥下研究会
4. 事業の概要：	<p>我々は地域でも安全に安心して栄養摂取ができる環境を整える目的に石巻圏摂食嚥下研究会 食べる輪を2015年より開催している。1年間に5回程度の勉強会を開催し、毎回100名程度の多職種が集まっている。</p> <p>今回もその一環として、本財源を使わせていただき2回の石巻圏摂食嚥下研究会 食べる輪を開催させていただいたので報告する。</p>
5. 事業の内容：	<p>講師を招き以下の2回の研究会を開催した</p> <p>1) 2019年6月20日開催「知って！食べて！体験してみよう！嚥下障害～基礎から応用まで～」</p> <p>2) 2019年10月24日開催 「活かしていますか嚥下調整食 ～嚥下調整食に必要なウデとクチ～」</p>
6. 実施後の評価（今後の課題）：	<p>1) 2019年6月20日開催「知って！食べて！体験してみよう！嚥下障害～基礎から応用まで～」</p> <p>参加者は98名であった。参加者は看護師や栄養士が多かった。医師や歯科医師の数が少なかった。95%が分かりやすいという評価であった。</p> <p>感想としては、講義とともに実演しながらだったので身をもって理解することが出来た（CM）や、映像で咽頭の動きを見ることでイメージを持ちながら今後の摂食嚥下を考えることが出来ると感じた（PT）等があった。</p> <p>2) 2019年10月24日開催 「活かしていますか嚥下調整食 ～嚥下調整食に必要なウデとクチ～」</p> <p>参加者は106名であった。食形態が中心の会であったことより、栄養士の参加が多かった。96%が分かりやすいという回答であった。</p> <p>感想としては、学会分類の考え方を初めて理解出来た。食形態の事を勘違いしていた（医師）や刻み、体験に沿った説明をリアルタイムでお話いただいたので体感もプラスされ分かりやすかったです。（歯科衛生士）等があった。</p> <p>摂食嚥下について多くの多職種が集い学ぶ機会を当研究会では提供できていると感じている。また、アンケート結果からも参加者の多くから高評価を得ていた。</p> <p>5年間継続しておこなってきたことで、知名度も上がってきている。会場のキャパシティの問題で、100名を定員とし、それ以外はお断りをすることもある状況である。今後も当研究会と石巻歯科医師会、他医療福祉関係の団体と連携を深めながら本地域に少しでも貢献が出来ればと考えている。</p> <p>しかし、今後はCOVID19により今までのような3密での開催方法は難しい。そこで今後はどのような方法で開催していくかを検討していく必要がある。</p> <p>最後に今回の助成に当研究会一同心より感謝申し上げます。</p>